



## 和の心

副校長 中村 千佳子

### ここはどこかな？

トイレや運動スペースがあります。でもお風呂はありません。部屋の中は温度・湿度が快適に保たれています。

外に出ると日なたは100度以上、日かげはマイナス100度以下にもなります。

正解は国際宇宙ステーションです。ステーション内は無重力状態のため、どのような姿勢でも生活ができます。逆立ちしたままの移動や背面飛行のような形で移動することも可能です。

先月、国際宇宙ステーションで日本人初の船長を務めた若田光一さんが無事帰還しました。宇宙実験などの国際的プロジェクトの安全運営の重責を担うリーダーが日本人である事に胸が躍り、誇りに思います。

「宇宙ステーションではマラソンを全力で走るような日々だった」と語った若田さん。体力の限界に近い状態で厳しいスケジュールをこなす中、健康を保つために毎日2時間の運動を続けて体を鍛え、夕食は飛行士3人で一緒に食べるなど、チームワークも重視されました。

お正月のステーション内での書き初めでは「和の心」と書かれました。『和』という言葉には「日本(和風)」という意味と「争いごとがなく穏やか」の2つの意味があります。私は、この「和の心」には、協和・調和の意味が込められていたのではないかと思います。

土曜日には第44回運動会を開催しました。短距離走で最後まで全力で走る姿、団体競技での勝負に対する真剣な眼差し、迫力ある応援団の姿、係活動などの仕事へのまじめな取り組みなど、我が子の成長の様子を間近に感じられた方も多かったのではないかと思います。

表現運動は、一部の子どもたちの秀逸な演技だけでは成り立ちません。一人がみんなのために、みんなが一人のためにと思いながら少しずつ完成に近づき、その喜びを友だちや教師と分かち合いながら本番を迎えます。まさに「和の心」です。運動会を通して体と心を鍛え、泉小学校最後の運動会で全力を出し切った思いは、きっと子供達の心に輝き続ける事でしょう。

本校は平成26年度末で閉校となるため、今回は学区にお住まいの皆様にもご案内を出しました。当日は、100名を超える



ご来賓・地域の皆様のご参観くださり、カー杯の演技と競技に大きなご声援と拍手をいただきました。また、住吉小学校からもたくさんの先生方が応援にいらして下さいました。心から感謝しております。ご家庭でも、運動会にいたるまで、様々な励まし・応援を本当にありがとうございました。

子供達の組体操を、涙を流しながら見ておられた地域の方もおられました。泉小学校の子供達の勇姿を胸に留めていただけたのではないかと思います。

今年度の歩みが最後の歴史となる泉小学校。閉会式での校歌の大合唱。声を詰まらせて歌う卒業生の姿もありました。

多くの方が築いて下さった伝統と足跡、その誇りと感謝を胸に、子供達・保護者の皆様・地域の方々と「和の心」で、教職員一同、閉校・統合に向けて全力で取り組んでまいりたいと思います。